

基礎・応用期カリキュラム

必修科目編

教職教養、論文対策、面接対策は関連科目であり、効率的に学習していくにはスケジュール立てが肝心です。例えば、科目の学習順や論文・面接対策を始めるタイミング、InputとOutputのバランスや時期に合わせたその比重など。TACでは、すべてが有機的に結びつき学習効果が最大化するよう、年間を通じて綿密にカリキュラムを組んでいます。

分野	2019年		2020年		
	秋		冬	春	夏
教職教養 ▶	教職教養 講義 全28回		教職教養 演習 全13回		
			✚ 教職教養〈人物編〉 全3回		
論文対策 ▶	論文対策 講義 全4回		✚ 論文 模範解説 全5回		
	執筆練習 添削無制限				
面接対策 ▶			面接対策 講義 全6回		
			✚ 面接 模範解説 全9回		
			実践練習 練習無制限		
本試験					

本試験

教職教養

▶ 講義 28回（180分／1回）

教育原理 講義 8回	教育法規 講義 8回	教育心理 講義 6回
教育史 講義 2回	教育時事 講義 2回	新学習指導要領 講義 2回

筆記と人物のハイブリッド講義

教職教養は筆記試験対策だけを目的とするのではなく、各テーマがどのように人物試験に関連しているのか、現場ではどのように活用されているのかを提示し、理解中心型学習を進めていきます。論文対策や面接対策に応用できる「使える現場ネタ」がふんだんに盛り込まれているので必見です。

● 配付教材

テキスト 5冊 + 教育史年表 1冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史／教育時事



トレーニング 4冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史



※イメージは前年度の教材です。

▶ 演習 13回（180分／1回）※成績判定はありません。

教育原理 演習 4回	教育法規 演習 4回	教育心理 演習 3回
教育史 演習 1回	教育時事 演習 1回	

本試験予想問題集の全問解説

科目ごとの問題演習を行います。解説講義では、解法テクニックや解答のポイントとなる知識を確認し、知識を着実に得点力に変えていきます。また独学では目の届きにくい周辺知識まで丁寧におさえ、知識の補強を図ります。

● 配付教材

演習 5冊

教育原理／教育法規／教育心理／教育史／教育時事



解説レジュメ 13回分



※Webで視聴する場合は、TAC WEB SCHOOL マイページ「講義録PDF」よりWeb閲覧してください。

論文対策

▶ 講義 4回（180分／1回）

執筆テクニックをレクチャー

執筆テクニックとは、出題テーマへの構想を練り、文章構造を決め、時間配分を管理しながら執筆する技術を指します。講義では、出題者の意図に沿った論文を書くための知識と、教師適性の高さをアピールする技術を、戦略的に手順を踏みながら養成していきます。

論文対策

講義 4回

TOPIC

- ☐ 論文対策の進め方と評価観点
- ☐ 教師適性と表現力の高め方
- ☐ 論理性の高め方
- ☐ 実践力・指導力の高め方（学習指導）
- ☐ 実践力・指導力の高め方（生徒指導）

● 配付教材

テキスト 1冊



※イメージは前年度の教材です。

面接対策

▶ 講義 6回（180分／1回）

面接ノウハウを形態別にレクチャー

最重要ともいえる面接対策は、合計18時間の徹底講義。面接のマナーやプロセスといった基礎知識から、評価のポイントや適切なアピール方法まで丁寧に指導します。頻出質問事項については、回答をその場で考える機会を設けながら、注意事項や望ましい回答の方向性などを具体的に解説していきます。

面接対策

講義 6回

TOPIC

- ☐ 面接の形態と評価観点
- ☐ 個人面接対策
- ☐ 場面指導対策
- ☐ 集団面接・討論対策
- ☐ 単元指導計画・授業案対策
- ☐ 模擬授業対策

● 配付教材

テキスト 1冊



※イメージは前年度の教材です。

▶ 実践 無制限

※本科生は、規定されたルールのもと、設定された日程の枠内で期間中何度でもご利用いただけます。
※実施期間・設定日数は校舎により異なります。

実施校舎

札幌校・仙台校・新宿校・渋谷校・立川校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・神戸校・広島校・福岡校



校長や教育委員会の経験者を含む講師陣が
**マンツーマン指導
グループ指導**

2019年11月よりスタート

日程・利用方法は
TAC WEB SCHOOL マイページにて
ご案内します。

■ 論文添削

完成論文ができるまで何度でも

本試験では複数の採点者が様々な観点で評価をするため、誰が見ても一定の評価を得る論文を書くことが重要です。そのためには安定した評価を得るまで練習を繰り返すしかありません。通学生は各校受付で、通信生は郵送で論文答案を提出できますので、気軽にまた積極的に取り組むことができます。※論文テキスト収載の添削課題に限りです。

■ 論文添削 Express (マンツーマン指導 30分／1回)

持ち込み論文をその場で個別指導

ご自身で執筆された論文を校舎にお持ちいただき、講師がその場で採点、添削、講評をさせていただきます。あなたと講師、双方向型の指導となりますので、執筆内容だけでなく執筆に至ったプロセスから掘り下げ、根底から執筆力を高めます。

■ 個人面接 実践 (マンツーマン指導 30分／1回)

1対1のロールプレイング

個人面接で問われる質問内容ごとに〈一般編〉〈教育編〉〈場面指導〉の3種類の練習をご用意しています。選んだ面接の種類によって質問内容が変わりますので、学習の進捗に合わせてポイントを絞った練習が可能です。

種類	一般編	教育編	場面指導
	主に面接の序盤で求められる自己PR、経歴や経験に関する質問	教育に関する知識を確認する質問や教育論・教師論に関わる質問	面接官が特定の場面を示し、教員としてどのような対応をとるかを説明する質問

■ 模擬授業 実践 (マンツーマン指導 30分／1回)

本試験形式で練習する

教師らしい所作、児童・生徒にあわせた話し方など、基本的な授業力は必須の能力です。まずは皆さんに実際に授業をしていただき、声・姿勢・口調・視線・挙動・板書・展開など、本試験で評価される観点に基づいて講師が改善案を提示します。

■ 集団面接・討論 実践 (グループ指導 70分／1回)

集団での発言・対話の流れを確認する

集団面接・討論では、複数の受験生が同時に評価されるため、個人面接とは違った対策が必要です。グループ指導では、練習を通じて集団面接特有の注意点を理解するとともに、独特の雰囲気慣れにいただきます。また実施後は総評に加え、個別評価をフィードバック。グループとしての注意点だけでなく、個人レベルでも改善点を明確にします。

PLUS 講義 17回（90分／1回） 人物試験対策がさらに充実！

PLUS 限定



教職教養
〈人物編〉
講義 3回

人物試験に
活用する論点を
集中学習

教員として適切な教育論を展開するにあたり必要となる教職教養の知識とその活用方法を学び、答案の具体性と説得力を高める素材を手に入れます。

論文
模範解説
講義 5回

講師の
答案執筆例から
学ぶ

優れた文章には読み手を惹きつける様々な技法が詰まっています。講義内で示される模範的な文例や答案をヒントにして自身の論文の質を高めます。

面接
模範解説
講義 9回

講師の
回答作成例から
学ぶ

テキストから数問ピックアップし、回答作成の際のプロセスやキーワード・望ましい回答の方向性を具体的に解説。模範的な回答を参考にすることで回答作成のコツをつかみます。

TACが選ばれる理由

コース・受講料

カリキュラム「入門期」

カリキュラム「基礎・応用期」

学習メディア＆フォロー制度